

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成29年10月13日
【四半期会計期間】	第36期第1四半期(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)
【会社名】	株式会社ウッドフレンズ
【英訳名】	WOOD FRIENDS CO.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 前田和彦
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3503
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3504
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 伊藤嘉浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第1四半期連結 累計期間	第36期 第1四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自平成28年 6月1日 至平成28年 8月31日	自平成29年 6月1日 至平成29年 8月31日	自平成28年 6月1日 至平成29年 5月31日
売上高 (千円)	5,750,738	6,752,595	29,615,522
経常利益 (千円)	42,268	198,178	809,583
親会社株主に帰属する四半 期(当期)純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純 損失( ) (千円)	4,831	127,664	530,991
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	10,028	142,857	573,323
純資産額 (千円)	4,798,799	5,358,680	5,328,270
総資産額 (千円)	18,877,222	20,665,699	19,412,575
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額( ) (円)	3.29	87.98	363.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	24.0	24.5	26.0

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 第35期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 第36期第1四半期連結累計期間及び、第35期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容において、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)の概況は、以下のとおりであります。

##### 当地域の不動産業界

- ・名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いており、とりわけ名古屋市内各地で開発の動きが広がっております。
- ・愛知県の新設住宅着工戸数は、前年同時期と比べて増加基調が続いております。特に分譲戸建住宅市場におきましては、住宅ローンの低金利等に支えられた住宅取得環境の下、需要増への期待から着工数が堅調に推移しました。短期的には、このような傾向が続くと予想しております。

##### 当社の取り組み

- ・当グループの主力事業である分譲住宅事業において、事業工期短縮とコストダウンを前期からの継続的な重要課題として、生産・販売プロセスの改善に取り組んでまいりました。
- ・将来の事業発展のため、集成材製造・プレカット加工等を行う岐阜工場の生産能力を拡張するための設備投資としてプレカット工場棟を新設し、稼働いたしました。

##### 当第1四半期連結累計期間の業績

###### <連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当期実績	6,752百万円	245百万円	198百万円	127百万円
前年同期比	17.4%増	154.8%増	368.8%増	-

###### <セグメントの実績>

##### a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売が主力。住宅建設資材の製造・販売も行う。

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	6,204百万円	306百万円	戸建分譲住宅の生産効率と販売効率が向上したことにより、販売戸数が増加し利益率も改善。また、建設資材の外販量も増加。
前年同期比	21.1%増	387.0%増	

##### b AM(アセットマネジメント)事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	469百万円	124百万円	業績は概ね計画どおり進捗。
前年同期比	1.6%増	4.6%減	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント損失	前年同期比の主因
当期実績	66百万円	36百万円	在庫物件のたな卸資産評価損を計上したことと完成工事補償引当金を積み増したことにより減益。
前年同期比	6.3%増	-	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主因
当期実績	39百万円	2百万円	宅地開発を行わなかったために減収減益となったが、業績は概ね計画どおり進捗。
前年同期比	69.8%減	84.9%減	

(2) 財政状態の分析

資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加及び設備投資による有形固定資産の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して1,253百万円増加し、20,665百万円となりました。

負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得及び設備投資に伴う借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較して1,222百万円増加し、15,307百万円となりました。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が減少したものの、非支配株主持分が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して30百万円増加し、5,358百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,800,000
計	4,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年10月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,480,000	1,480,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	1,480,000	1,480,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月1日～ 平成29年8月31日	-	1,480,000	-	279,125	-	269,495

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 28,900		単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,450,800	14,508	単元株式数は100株であります
単元未満株式	普通株式 300		
発行済株式総数	1,480,000		
総株主の議決権		14,508	

【自己株式等】

平成29年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式の割合 (%)
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄四丁目5番3号	28,900	-	28,900	1.95
計	-	28,900	-	28,900	1.95

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)により作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年6月1日から平成29年8月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年6月1日から平成29年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,208,148	3,732,149
完成工事未収入金	5,556	2,802
売掛金	344,241	337,564
販売用不動産	4,688,898	4,301,445
仕掛販売用不動産	5,323,007	6,063,311
商品及び製品	203,810	230,260
未成工事支出金	1,287,082	2,074,965
原材料	248,170	202,149
仕掛品	97,846	100,733
その他	507,586	639,595
流動資産合計	16,914,349	17,684,977
固定資産		
有形固定資産	2,061,929	2,535,602
無形固定資産	134,194	134,742
投資その他の資産	302,101	310,377
固定資産合計	2,498,225	2,980,722
資産合計	19,412,575	20,665,699
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	1,471,647	1,376,187
買掛金	365,521	401,236
1年内償還予定の社債	153,400	107,400
短期借入金	5,881,562	6,592,453
1年内返済予定の長期借入金	1,469,540	1,467,765
未払法人税等	148,146	71,726
賞与引当金	151,357	46,997
役員賞与引当金	32,000	-
完成工事補償引当金	142,922	139,961
その他	707,084	685,435
流動負債合計	10,523,182	10,889,164
固定負債		
社債	309,600	279,600
長期借入金	2,289,116	3,290,721
退職給付に係る負債	1,194	1,294
役員退職慰労引当金	138,100	139,972
資産除去債務	16,102	16,145
その他	807,008	690,120
固定負債合計	3,561,122	4,417,854
負債合計	14,084,304	15,307,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	280,619	284,956
利益剰余金	4,538,442	4,535,514
自己株式	55,569	41,762
株主資本合計	5,042,617	5,057,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,337	1,432
その他の包括利益累計額合計	1,337	1,432
非支配株主持分	284,315	299,414
純資産合計	5,328,270	5,358,680
負債純資産合計	19,412,575	20,665,699

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	5,750,738	6,752,595
売上原価	4,979,594	5,743,488
売上総利益	771,144	1,009,106
販売費及び一般管理費	674,889	763,810
営業利益	96,254	245,295
営業外収益		
受取利息	9	4
受取手数料	3,739	4,220
その他	10,009	8,284
営業外収益合計	13,757	12,509
営業外費用		
支払利息	58,383	51,431
その他	9,360	8,195
営業外費用合計	67,744	59,627
経常利益	42,268	198,178
特別損失		
固定資産除却損	1,008	175
特別損失合計	1,008	175
税金等調整前四半期純利益	41,259	198,002
法人税等	29,635	55,239
四半期純利益	11,623	142,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,455	15,098
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	4,831	127,664

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	11,623	142,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,595	95
その他の包括利益合計	1,595	95
四半期包括利益	10,028	142,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,426	127,759
非支配株主に係る四半期包括利益	16,455	15,098

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
販売顧客の金融機関からの借入金	647,951千円	196,763千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
減価償却費	72,347千円	87,566千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年8月25日 定時株主総会	普通株式	58,684	40	平成28年 5月31日	平成28年 8月26日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年8月29日 定時株主総会	普通株式	130,591	90	平成29年 5月31日	平成29年 8月30日	利益剰余金

2 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	A M事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	5,120,806	461,830	56,983	111,119	5,750,738	-	5,750,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,713	492	5,150	19,406	26,762	26,762	-
計	5,122,519	462,322	62,133	130,525	5,777,501	26,762	5,750,738
セグメント利益又はセグメン ト損失( )	63,016	130,049	7,281	15,162	200,947	104,692	96,254

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 104,692千円には、セグメント間取引消去25,403千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 130,096千円が含まれています。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	A M事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	6,201,598	469,030	61,846	20,119	6,752,595	-	6,752,595
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,750	519	4,228	19,335	26,833	26,833	-
計	6,204,348	469,549	66,075	39,454	6,779,428	26,833	6,752,595
セグメント利益又はセグメン ト損失( )	306,867	124,072	36,298	2,285	396,926	151,630	245,295

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸運営、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 151,630千円には、セグメント間取引消去4,829千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 156,460千円が含まれています。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	3円29銭	87円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額( ) (千円)	4,831	127,664
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期 純損失金額( )(千円)	4,831	127,664
普通株式の期中平均株式数(株)	1,467,122	1,451,100

- (注) 1 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年10月11日

株式会社ウッドフレンズ

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岩田 国良

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山田 昌紀

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの平成29年6月1日から平成30年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年6月1日から平成29年8月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年6月1日から平成29年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の平成29年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。